



政治的中立性をめぐる日本の教師(2)

現職教員の調査から

■ 日時

2022年1月8日(土)

14:00-16:00

オンライン会議
Zoom
を使用します

■ スケジュール

- 趣旨説明 川口広美(広島大学)
- 話題提供 論争問題学習に対する教師のスタンス：
全国地理歴史科・公民科教師への質問紙調査を基に
玉井慎也・田中峻斗・野瀬輝・小野創太(広島大学院生)
奥村尚(独立研究者)・川口広美
- 話題提供 「生々しい問題」を教える際の教師のゲートキーピング
金鍾成(広島大学)岡田了祐(お茶の水女子大学)
村田一朗(広島大学院生)・川口広美
- 指定討論 岩崎圭祐(佐川町立佐川中学校)
溝口和宏(鹿児島大学)
- 質疑応答
- 閉会の辞

現在、多様な考え方を認識し、調停できる「考える主権者」を育成する「論争問題学習」に関心が集まっています。「政治的中立性をめぐる日本の教師」シリーズでは、どのように論争問題学習を進めていけばいいのかについて検討しています。

第2回目の本セミナーでは、個別のイシューに対する現職教師のスタンスに関する調査結果を基に、日本の教師にとって何が論争問題学習のハードルになっているのか。今後、どのような支援や研修が必要かについて、具体的に議論を深めていきます。

- 主催 科学研究費(若手研究)「社会科教師は論争問題をどのように捉えているか―「政治的中立性」との関係から」(研究代表者:川口広美、19K14239)
- 共催 広島大学教育ビジョン研究センター(EVRI)

■ お問い合わせ先



教育ビジョン研究センター(EVRI)

<https://evri.hiroshima-u.ac.jp/20442>

QRコード等からお申し込み後、オンライン会議に必要な情報をご連絡いたします